



<https://www.tutitokaze.com/>

<https://www.instagram.com/koedofarm/>

2021.10.25号



### 親子で畑で遊ぼう！

第7回 10/2

10月1日に千葉県沖を台風16号が通過した。2年前の越辺川決壊のこともあったので、トラクターや耕うん機を竹林に避難させ、あおぞら農場の入り口には砂利を敷いたりして冠水被害に備えたが思ったほど風も雨も強くなく、ファームに被害が出ることはなかった。翌日のこの日は台風一過の雲一つない清々しい青空。畑は水を含んでちょっと重いがこれくらいなら種まきは出来そう。延期のメールを送らずに済んで何よりだった。

それはそれでよかったのだが、畑を耕したり、うねを作ったり、種まきの前日しておく準備がまったくできていない。はて、どうしよう。

こうなったら、イチからみんなでやっちゃおう！ってなわけで、この日のダイコンの種まきはうねづくりからスタートです。うねとは種をまいたり苗を植えたりする時に、土を盛り上げて作った細長い山のことです。うねがあれば雨が降った時、種が流されたり苗が水に浸かってしまうことがなくなるので、野菜づくりにうねは欠かせません。

畑に引いた線に沿ってクワで土を盛り上げて、幅80cm、高さ15cmのうねを3列作りました。クワとは長い木の棒の先に金属の板がついた畑を耕したり、うねを作ったりする道具です。大きさも形も様々ですが、ファームのクワはプロ仕様なので、子どもたちには長くて重くてかなりヘビーでしたが、みんなよく頑張りました。

次にリポDの空きビンで植え穴を付けます。深さ1~1.5cm、間隔が30cmです。穴が深すぎると芽が出ないので、深いとすぐやり直します。

リポDとはリポビタンDの略で大正製薬が製造販売している栄養ドリンクです。疲労の回復や予防、体力の維持・改善などに優れた効果を発揮します。種類も豊富でファームでは愛飲の1本です。大きさがちょうど良いので植え穴を付ける時には必ずリポDを使っています。



植え穴ができれば、種を3粒ずつまきます。種が重ならないように三角形になるようにまきます。この日まいたのは冬自慢というダイコンです。種が青色だったのは、消毒をしてあることがすぐに分かるように種に色を付けているからです。どうして1つの植え穴に3粒まいたかと言うと、芽が出たダイコンはお互いの成長ホルモンが作用しあって共に大きくなっていきます。一粒しかまかなかたダイコンは刺激し合う相手がいないので、成長がよくありませんが、多ければ多いほどいいという訳でもないので、種は多くても5粒までです。水やりはしなくてOK。3日後にはもう芽が出ていました。



お昼を食べた後はうねに防虫ネットをかけました。ダンポールと呼ばれる柔らかな棒を半月状に曲げてうねの脇に等間隔に挿します。次に上から防虫ネットをかけ、ネットの裾に土をしっかりとかぶせまします。ダイコンの天敵は通称ダイコンシンクイムシと呼ばれるハイマダラノメイガの幼虫で、その名の通りダイコンの芯を食べてしまいます。芯を食べられたダイコンはそれ以上育たないのでコイツにだけは気を許してはいけません。種まきたらすぐに防虫ネットをかぶせてダイコンを守らなければならないのです。



うねづくりから防虫ネットまで完璧な作業でした。これで立派なダイコンが食べられること間違いなし！最後にコスモスとヒマワリの花摘みをしてこの日はお開きとなりました。

来月は年に一度の収穫祭。何が収穫できるか？クワガタ教室もあるよ。お楽しみに！スプーンやお皿などのマイ食器もお忘れなく。詳しくは後日メールで。

### 親子で畑で遊ぼう！ 第8回

11月13日(土) 10:00~14:00

収穫祭

持ち物：帽子、手袋、長靴、タオル、飲み物、食器  
ハサミ、Myバック、My食器ほか

## 畑をみんなで楽しもう！

原木は何度かやりましたが、菌床は初挑戦です。あっ、シイタケ栽培の話です。

一般的なシイタケの原木栽培は伐採したクヌギやコナラの原木にドリルで穴をあけ、種駒を打ち込んで林やハウスの中で栽培します。駒打ちは2~4月、仮伏せ本伏せを経て、原木に菌がまん延すれば翌年の秋にシイタケが顔を出します。季節に合わせて水やりをしたり、風通しを良くしたり、天地返しをしたりと思った以上に手間暇かけて栽培します。

一方、菌床栽培はおが屑に米ぬかやフスマなどを混ぜてブロック状にした菌床を培地に使います。菌床は市販されてい



て、主な手入れは水やりなので、誰でも簡単に栽培を始めることができます。近年は菌床栽培を始める障害者施設が増えていて、川越でも「まごころファーム川越」という施設が栽培に取り組んでいます。原木は収穫まで1年半以上、菌床は僅か数週間、これなら障害者の仕事に結びつきますね。はてさて、ファームの菌床シイタケはこれ如何に。収穫祭では生シイタケの網焼きが食べられるか？ この原稿を書いたのは、栽培から3日後。その後の顛末は次号にて。

## 畑でハーブを育てよう！

10月2日(土)31℃まで気温が上がる青空の下でハーブスワッグ作りをしました。スワッグは、ドイツ語で「壁飾り」を意味するそうです。皆で、畑の元気モリモリのレモングラスを収穫しました。それを束ねてねじり土台を作ります。その上に千日紅やケイトウなどのお花やヒノキの葉やオリーブや月桂樹の枝で作った花束をのせて、麻紐やリボンで結んで完成です。皆さんの、頭を悩ませながらも楽しそうにアレンジする姿に、こちらまでワクワクしました！



次に、ハーブティーのデモンストレーションをしました。ハーブティーは2種類、パタフライピーとレモングラス、乾燥いちじくの葉です。色や香りを楽しみましたが、またいつか畑でハーブティーを飲める日が待ち遠しいですね。参加者の方々からは、前回のマッサージボールがご家族やワンちゃんもみんなで楽しまれている事や、ハーブティーのいれ方が勉強になったと聞かれました。(鍋田)

### 畑でハーブを育てよう！第7回

11月13日(土)10:00~12:00

収穫祭

持ち物：帽子、手袋、長靴、飲み物、マイカップ

### 11月のこえどファーム

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 畑をみんなで楽しもう	3	4	5 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	6
7	8	9 畑をみんなで楽しもう	10	11 	12 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	13 親子で畑で遊ぼう 畑のハーブを育てよう
14	15 	16 畑をみんなで楽しもう	17	18	19 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	20 順延日
21	22	23	24	25	26 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	27
28	29	30 畑をみんなで楽しもう				

#### ◆編集なんてしてないけど編集後記◆

10月なのに早くも冬到来って感じ。今年はラニーヤになるらしい。となると冬は寒くなるってことだ。すでにもう、コタツもストーブも羽毛布団も出して、準備万端なのである。(ま)

#### 発行 特定非営利活動法人 土と風の舎

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 6-14-10

TEL.049-248-9485 FAX.049-248-9486

E-mail.tutitokaze@arion.ocn.ne.jp